



発行 桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311177
FAX(0277)401600

お正月を迎えて「千年」

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



当山も檀信徒皆様のご慈愛を賜り、新年を迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

さて今年、鳳仙寺は開創四四〇年を迎えます。天正二年(一五七四年)に開創しました。この長

●大圓門鶴大和尚について

平成26年9月25日、大本山永平寺第20世住職である大圓門鶴大和尚(いんもんかくだいおし)の四百回忌法要が福井県の大本山永平寺にて行われます。

大圓門鶴大和尚は、鳳仙寺の第3世であり、鳳仙寺から大本山永平寺住職として慶長3年(一五九八年)の晩秋に上山されました。

この縁で今回、大本山永平寺より鳳仙寺住職に門鶴大和尚の四百回忌連夜の法要で導師を勤めるように、と焼香師の辞令の通達を頂きました。これは百年に一度の奇寓であり、今回は百年後

四百回忌を迎えます。この正当連夜の法事を永平寺にて導師をするように委嘱されました。当寺の住職の法事を本山でお勤めする機会は滅多にないことです。団体参拝旅行を企画しており

ますので是非ともご参加いただければ幸いです。結びに檀信徒の皆さまにとつて幸多き年となりますよう心から祈念申し上げます。

住職 坪井良廣

1 周忌	平成25年(2013年)
3 回忌	平成24年(2012年)
7 回忌	平成20年(2008年)
13 回忌	平成14年(2002年)
17 回忌	平成10年(1998年)
23 回忌	平成4年(1992年)
27 回忌	昭和63年(1988年)
33 回忌	昭和57年(1982年)
37 回忌	昭和53年(1978年)
43 回忌	昭和47年(1972年)
47 回忌	昭和43年(1968年)
50 回忌	昭和40年(1965年)

日曜・祝日の御法事お申込みはお早めをお願いします。

大圓門鶴大和尚四百回忌が奉修されます。

鳳仙寺第三世、大本山永平寺第二十世。今回は、平成26年9月24日の大本山永平寺での法要に多くの檀信徒さまと参拝に行きたいと考えておりますので、ぜひご参加をお待ちしております。

●大圓門鶴大和尚の永平寺入山とその活動

大圓門鶴大和尚が鳳仙寺から永平寺へ入山した経緯が、鳳仙寺が所蔵する「大圓門廓置文」から明らかとなる。※資料最後の文言に「拙僧永

●門鶴本「永平廣録」の成立

それから少し後の慶長3年の冬安居に、門鶴は、道元禅師の語録である『永平廣録』の書写を計画

●門鶴の山門再興と曹洞宗開祖・道元禅師三百五十年忌

永平寺に入院してまもなく『永平廣録』を書写し、安置した門鶴は慶長七年(一六〇二年)に道元禅師の三百五十年忌を迎えなければならなかった。この記念事業の一つ

第16回 「写経の会」のご案内

第16回写経の会開催のご案内です。鳳仙寺では年2回行っている恒例の行事です。開催日である2月16日は、涅槃会(ねはんえ)です。涅槃会とはお釈迦様が

お亡くなりになった日です。当日は、涅槃会の法要を行った後に、写経を行う予定です。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 参加費・1000円
- 持参品 小筆(または、筆ペンでも可)・ブランチ
- ※写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。
- スケジュール
- 13時 受付
- 13時10分 涅槃会法要(お釈迦様の命日)
- 13時40分 写経
- 15時00分頃 解散
- ※締め切りは 2月14日(金)まで

- ### 賀正
- 住職 坪井良廣
 - 副住職・会計 坪井良樹
 - 総代 石原竹雄、太田亨文、田島輝雄
 - 会計監査 岩崎岑生
 - 世話人 東洋一、天笠勝美、板井政夫、板倉秀夫、岩崎親道、内野正章、梅澤誠、大里政由、大澤淳一、岡島榮、小此木久四郎、金居成治、金丸由太郎、金子清、金子宗吉、木島幸雄、桑子三喜男、小林當二、小林満寛、五味田博、清水義男、清水洋、田嶋愛子、中村清、館盛治、堤和由、長谷川孝元、羽田野百合子、廣神重子、平方佳介、前原美佐保、茂木邦武、吉田長生

し、実行している。門鶴が永平寺に住職して、まず、手がけた仕事であったといえよう。現存する『永平廣録』の中では一番古いもので、門鶴本『永平廣録』と通称される。同本は十巻十冊で、永平寺に所蔵されている。

として考えたのであろうか、山門を再建している。こうして、山門が建立されたが、門鶴はこれよりさき、この年の2月1日に死去した井伊直政の葬儀のために近江(滋賀県) 沢山(佐和山)に赴いている。正徳五年(一七一五年)8月15日に、清涼寺六世東溟辨日が撰述した『井伊家族考』をみるとつぎのような記載がある。

門鶴は井伊直政の葬儀のために30名の衆僧とともに沢山に21日間滞留した。その間に葬儀の導師をはじめ、忌中の法要から、百ヶ日の法要までの一切を行ない永平寺に帰った。この時に布施千兩

たことであろう。「永平寺史より抜粋」
[窗] 井伊直政(いゝなおまさ)は、安土桃山時代から江戸時代前期にかけての武将・大名。井伊氏第24代。上野国高崎藩の初代藩主。後に近江国佐和山藩(彦根藩)の初代藩主。
また、江戸時代に譜代大名の筆頭として、江戸幕府を支えた井伊氏の手本となった人物であり、現在の群馬県高崎市と滋賀県彦根市の発展の基礎を築いた人物でもある。
2代目藩主・井伊直孝に縁(ゆかり)ある一匹の白猫をモデルにした「ひこにゃん」はゆるキャラブームで大ヒット中である。

※資料

平成26年度 厄年表		
前厄	本厄	後厄
男		
60歳 昭和30年生	61歳 昭和29年生	62歳 昭和28年生
41歳 昭和49年生	42歳 昭和48年生	43歳 昭和47年生
24歳 平成3年生	25歳 平成2年生	26歳 平成元年(昭和64年生)
女		
36歳 昭和54年生	37歳 昭和53年生	38歳 昭和52年生
32歳 昭和58年生	33歳 昭和57年生	34歳 昭和56年生
18歳 平成9年生	19歳 平成8年生	20歳 平成7年生

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数え年です。

『除夜の鐘』を撞いで今年の厄払いをしませんか？

ご祈祷は、すぐにご案内できます。

除夜の鐘

十二月三十一日は、毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは十一時三十分頃を予定。古いお札や縁起物は、境内にてお炊き上げをいたしますのでこの機会にご持参ください。

また、本堂では甘酒や温かい珈琲の接待のほか、新春祈禱、破魔矢、お守りなど縁起物の頒布をおこなっています。

元旦0時から本堂にて本年の厄を消除する年始めのご祈祷であります「元朝大祈禱(がんちょうだいいきと)」を行います。ご家族の方、

ご近所の方をお誘い合わせのうえ、ぜひともご参詣ください。○寒いので暖かい服装でお出かけ下さい。

○参道は、暗いので徐行をしながらお車の運転にご協力をお願いします。

新春祈禱
元旦より五日まで毎日、新春のご祈禱を行っていただきます。時間は朝九時より午後四時半頃まで。二十分程の間隔で随時申し込みができます。

新年を迎える事が出来た感謝と、新たな希望の成就を願ってご参加してください。平成26年の方位除けの八方塞がりや四緑木星の方が当たられております。八方塞がりとは、地相、家相、方位、日柄等から来るあらゆる災いにより、どの方向に向かっても不吉な結果を招きやすい年周りで九年に一度とされております。年の初めに、厄を払い素晴らしい1年のスタートと成りますようご祈願

ご報告

被災地支援『希望の花キャンドル』販売結果報告



希望の花キャンドル

をお勧めしております。主な願目は、厄除開運、大願成就、方位消除、福徳開運、厄除開運、家門繁栄、善星皆来、悪星退散、家内安全、商売繁盛、社運隆昌、交通安全、また、期間中に来山出

諸病平癒、無病息災、安産祈願、合格祈願、諸願成就などです。

尚、電話やFAX、インターネットによる事前申し込みもできます。

http://www.hosenji.or.jp/

ソクを青年部で回収し、南三陸町へ送り仮設住宅に住む婦人会の皆様に公民館に参集していただき、花をモチーフにしたアロマの香りがする「キャンドル」を作成していただき、お札を支払う雇用対策事業です。

この事業で、副住職が事務局長として携わらせていただきましたが、NHK、桐生タイムス、東京新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、上毛新聞等に記事が掲載され、多くの方々に呼びかけていただいたおかげで、5ヶ月間で沢山の方々にご支援をいただくことができました。桐生市内だけでなく、遠方の方々のご支援もあり毎日のように発送作業を行いました。

今後この事業は、桐生仏教会青年部の元を離れ南三陸町の方々が中心になってキャンドルの製作や販売等を行っていく予定ですので引き続きご支援の程お願い致します。

●平成25年6月より11月末日まで
○連キャンドル 約千九百個
○バラキャンドル 約千七百個
ご支援ありがとうございました。桐生仏教会青年部 一同

ご報告

世話人さんの交代・新会計監査就任

鳳仙寺の世話人さんをお勤めいただいた方がこの度退任する事となりました。長年に渡り当寺護持の為にありがとうございました。また、新たに世話人になれる方を

紹介します。世話人の岩崎さんにこの度、会計監査に引き受けていただくことになりました。

●退任される世話人さん
板倉光夫さん、岡村栄三さん、小川廣夫さん、木



発送の様子

●新世話人さん 板倉秀夫さん、清水洋さん、茂木邦武さん
●会計監査 岩崎孝生さん

茶道裏千家淡交会(お)びと茶道教室



写経の様子

全国でらこやネットワー(本部・東京都港区青山・大西克幸会長)が協力をした。

第1日目は、お迎えのお茶である呈茶が始まり、写経・写仏体験は副住職が担当、レクリエーションでは、境内に出てダンスや体操などがおこなわれた。

夕食は、お肉の入っていない精進カレー。この日は、あいにくの雨だったので軒下で花火を行った。

第2日目は、朝のお勤めと坐禅を住職と副住職で担当した。そして午前中は、いよいよ「こども茶道教室」の開催である。まずは、和菓子職人による和菓子作りの体験を行

9月7日、8日の一泊二日で、茶道裏千家淡交会青年部/関東第二ブロック主催の「こども茶道教室」が鳳仙寺にて開催された。関東一円より、こども70名を含む約百名の参加者が本堂や常磐殿に拝宿した。

淡交会は、京都に本部があるお茶の家元で理事長は、千宗室氏。

また、こども達のお世話がかりを担当したのは、

お茶会を通して日本文化の大切さを学び、またお寺でのお泊まり会はとも思い出深い最後の夏休みになったようだ。

い、お茶室や本堂に移動して、自分たちが作った手作りの和菓子を片手にお茶の作法を学びながらお茶会を楽しんでいた。

本格的なお茶会にはじめて参加したこども達が多く、茶道を通じて日本文化の大切さを学び、またお寺でのお泊まり会はとも思い出深い最後の夏休みになったようだ。



お茶会の様子

平成26年度 鳳仙寺団参旅行のご案内

大本山永平寺二十世四百回忌速夜焼香師団参旅行



大本山 永平寺山門

平成26年9月24日・25日の一泊二日にて鳳仙寺

団体参拝旅行を募集しております。25日は永平寺第20世住職である大圓門鶴大和尚(だいえんもん)がかくだいおしょう)の四百回忌法要が行われます。この機会に是非ともご参加、ご参拝をお願いします。

1日目・9月24日
鳳仙寺(6時00分) 北
関東・上信越・北陸道 福井北IC 大本山永平寺

(14時00分〜17時30分)
 山中温泉(18時30分)
 2日目・9月25日
 山中温泉(8時30分) 北陸・東海北陸道 世界遺産 白川郷 飛騨の小京都 高山散策 安房峠 松本 上信越 北陸 東海道 鳳仙寺(19時)
 ※詳細につきましては後日、「旅のしおり」にてご案内致します。
 ○旅行企画 鳳仙寺まで